

うさみあじさい

～宇佐美小中学校コミュニティ・スクールだより～

宇佐美小中学校
地域学校協働本部
令和8年3月
地域コーディネーター
稲葉富士子

第3回学校運営協議会

この日は、13時25分から宇佐美小学校の1年生から6年生の授業参観を行いました。参観を終了した協議会委員の方々の感想は、「成長が感じられる。」というものでした。

協議会委員は、さまざまな形で1年間学校行事や授業にボランティアとして参加した方が多くいるため、児童が成長してきた姿を見てきました。

- ・1年間でこんなに落ち着いて学習に取り組むことができるようになった。
- ・音楽の授業は、自分を表現することが楽しいことだと学習するものであり、リズム感のある授業が印象に残った。
- ・冬期オリンピックを見ていて、若い選手たちが、自分の思いを自由に表現する姿を毎日のようにテレビで見ている、きっとこの宇佐美小学校の児童もそれぞれの目標に向かっていくのだろうと思った。
- ・総合の授業では、今まで授業の中で調べたことや考えたことをまとめ、発表するための準備をしていた。大きな紙にまとめた内容を発表するために準備した児童。タブレットを見ながら準備している児童。将来に役立つ学習をしている児童の姿が印象に残った。

上の感想は、1年間を通して小学校の児童一人ひとりが成長していることを感じている方たちのご意見です。また、小学校に入学してさまざまな体験や学習をし、学年が上になるにしたがい成長していくという見方の意見もありました。身長、体重も増えるのだから当然のことかも知れませんが、今年度、宇佐美小学校には数多くの体験の場面がありました。

2年生の生活科の授業では、地域の方や農協の方に手伝ってもらい、サツマイモの苗を植えて育て、収穫し、そして、焼き芋大会まで1年を通して行いました。「学校のグラウンドで焼き芋ができるなんてすごいことだよ。宇佐美小学校だからできるんだよ。」と担当の先生が児童に話す姿を見て、改めて地域の方々が関わってくださることの大切さを感じました。



スーパーでも焼き芋は売っていますが、木を燃やしたときの匂いや、焼けすぎてしまった堅いところの味、みんなと一緒に食べる焼き芋の味はきっと心に残ると信じています。

参加してくださった「宇佐美学舎」の方たちからは、「来年は、もっとこんなふうにするときっとうまくできる。」という声があちこちから聞こえてきました。できるかどうかわかりませんが、大人も楽しく参加できました。

深辺宇佐美区長が議長となり、宇佐美小中の学校評価アンケートの結果を聞くなどの議事に入りました。

今年度、協議会の中に発足した「学習支援委員会」「学校行事委員会」「環境安全委員からは次のような報告がありました。

<学習支援委員会>

- ・2年生の生活科の町たんけんやサツマイモの栽培。5年生のミシン補助。中学生による読み聞かせの実現。

<学校行事委員会>

- ・地域の方による読み聞かせボランティア。
- ・クラブ活動は、地域や保護者の方に講師をお願いしたところ14名の方が指導に参加。(茶道・理科実験・バレーボール・バドミントン・絵手紙)
- ・児童大集会の実現。

<環境安全委員会>

- ・奉仕作業に、地域の方やJAふじ伊豆(宇佐美支店)の方たちが参加。



地域コーディネーターからは、現在のボランティアの方に対するお礼の形を、教育委員会に工夫してもらえるように依頼してほしい、という話がありました。また、他の地区の活動を見ると、仕事をしている若い方たちも地域の子供たちのために行っている取り組みがあることを知りました。その取り組みを参考にしながら、地域の大人が学校と一緒に活動できることを考えていきたい、という話がありました。

*「うさみあじさい」は現在小さな花芽をつけています。2月22日に肥料をあげたと「葉っぱや」さんが教えてくれました。私たちの気がつかないところで学校のため、児童生徒のために活動して下さっている方がいます。ありがとうございます。